

令和元年度シラバス

科目	美術 I	学年・類型	1年・共通	単位数	2単位
教科書		高校生の美術 1 (日本文教出版)			
副教材等					
学習目標	美術の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めます。				
学習心得	<p>デザイン分野では、絵具や色彩の基礎を学習し、絵具の特性を生かした表現と、調和する配色を理解するとともに、これら基礎的な知識や技能をもとに平面表現に取り組みます。</p> <p>絵画分野では、デッサンの基礎を学習し、形態や陰影の表現方法を身に付けていきます。また、油絵具の特性と用具の使い方を学び、様々な表現方法と絵画の歴史を学習します。</p> <p>鑑賞においては、作品を相互鑑賞することによって多様なものの見方を知り、今後の表現に役立てるとともに、鑑賞の能力を伸ばします。</p>				
評価方法	各学期の評価は、提出された作品と道具等の準備物の状況や学習態度等を含めて総合的に行います。学年末の評価は、全学期の評価を平均することで行います。				
	単元(予定時数・実施時数)	主な学習活動			
一学期	1 絵具と色彩	<ul style="list-style-type: none"> 絵具の種類と特性についての理解を深めます。 色の三原色、色の三属性など、色彩の基礎を学習します。 アクリル絵具の性質や特徴を理解し、多様な表現方法について学び、着彩における基本的な技術を身に付けます。 書体の特徴や違いを知り、用途に応じて使い分けられるようにします。また、画面の構成要素について学び、画面の中に文字を効果的に配置できるようにします。 制作した作品を互いに鑑賞し、評価し合うことによって、自分の作品の良い点や改善点を理解します。 人権ポスターの制作を通して、1学期に学習した内容の定着を図るとともに、人権問題への理解を深めます。 			
	2 レタリング				
	3 鑑賞 1				
	4 人権ポスター制作 (24・)				
二学期	5 鉛筆デッサン	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆を用いた陰影表現の基礎を学び、濃淡や調子を表現できるようにします。また、ものの形の捉え方について学習し、正確な形態描写と質感や立体感の表現方法についての理解を深めます。 自画像と似顔絵の違いに着目し、人物を描く際の内面表現について学びます。また、顔の各部分をじっくりと観察し、形態を把握するとともに、見る角度や表情の変化に対応した描写ができるようにします。 油絵具の歴史や道具の使い方について学び、油絵具の性質を生かした表現ができるようにします。 制作した作品を互いに鑑賞し、評価し合うことによって、より良い作品を作る意欲を高めていきます。また、様々な視点を持つことにより、ものの感じ方や捉え方を豊かにし、多様な表現へとつなげていきます。 			
	6 自画像				
	7 鑑賞 2 (26・)				
三学期	8 キーホルダーの制作	<ul style="list-style-type: none"> 身近な日用品に込められた工芸職人の思いを理解します。また、金属工芸における主な技法と、金属の特性について学び、今後の制作に生かせるようにします。 安全な道具の使い方や、金属加工の難しさを理解します。また、根気強く制作することによって得られる達成感を味わい、作品に費やした作者の労力を想像できるようにします。 制作した作品を互いに鑑賞し、評価し合うことによって、より良い作品を作る意欲を高めていきます。 			
	9 鑑賞 3 (20・)				